



国民体育大会・少年エリミネーション決勝

シクリスムエコーNo.124 2005年11月号



2005年ジャパンカップ・サイクルロードレース 2



第60回国民体育大会自転車競技会 4



05-06 UCIトラックワールドカップ・クラシクス#1 7



2005年日韓対抗学生自転車競技大会 8

Continental Cycling Center Shuzenji 9



2005 UCI サイクルサッカーワールドカップ#7 10



競技大会結果 11

アジア選手権・アジアジュニア選手権 日本代表選手団 14

2005年JCF短距離強化合宿 15

登録者のアンチ・ドーピング検査規則に係る処分 15

インフォメーション コーナー 16

人事 16

各大会日本選手団 16

連盟の動き 16





Japan Cup Cycle Road Race



最終周回に入る先頭集団(トップが優勝したクネゴ)

第14回となる'05ジャパンカップは、今年施行されたUCIのロードレース改革により参加形式が変更され、昨年までに比べると若干様相が変わった。ロードレースの区分でクラス1に指定され、UCIアジアサーキットに組み込まれた本大会に参加できるのはUCI登録チームのみで、いわゆるクラブチームやこのレースのみの特別編成のチームは、参加することができなくなってしまった。その結果UCIプロチームの参加は昨年よりも2チーム減って4チーム。国内チームはUCIアジアツアー登録の5チーム。国内チームとは別枠のシマノはUCIヨーロッパツアー登録でオランダ国籍のチームであるが、今回出場する5名はすべて日本人選手だ。昨年の今大会終了時には、ヨーロッパチームの参加が減ってアジアのナショナルチームの参加が増えるのではないかと噂されたが、結局アジア地域からは日本ナショナルチームと、香港チャイナナショナルチームのみの参加となった。

以上12チーム・56名が今回の参加選手数で、数の上では昨年の15チーム・73名に比べかなり減ってしまったが、昨年表彰台を占めたパトリック・シンケピツ(クイックステップ)、ダミアノ・クネゴ(ランプレ)、マヌエル・クインツァート(サウニエルデュバル)が今年も出場、更にイレスパレアスからはツール・ド・フランス総合4位のフランシスコ・マン

セボがエントリー。国内トップクラスの選手もほぼ顔をそろえた上、香港チャイナナショナルチームにはアジアの雄、黄金宝(ワン・カンポー)がエースとして出場しており、メンバー的には決して興味を損なうものではない。

10月23日午前10時、宇都宮市長・佐藤栄一氏の号砲によりレースはスタートした。昨年よりも明らかに多い大観衆で沸き立つ1周目の古賀志林道で集団から飛び出したのは、廣瀬佳正、品川真寛(以上シマノ)、橋川健(キナン)、飯野嘉則(ラバネロ)、綾部勇成(ミヤタ)の5名。頂上からの下りでこの5名に福島康司(ブリヂストン)が追い付き、まず6名の先頭集団が形成された。

1周完了時で先頭集団とメイン集団との差は1分32秒。2周完了時に2分15秒とその差を広げ、山岳賞がかかる3周目の古賀志林道に先頭集団は差しかかる。ここでアタックしたのは廣瀬で、そのまま1回目の山岳賞を奪取した。この時点でメイン集団との差は2分31秒。

このレースの場合国内選手のみによる序盤の逃げに対しては、集団は様子見をするケースが多いのだが、今年は様相が違った。この週の9km地点での2分55秒がこのレースで記録された最大の差で、以降は海外勢が集団をコントロールし始め、先頭との差を2分30秒前後に保っていく。集団を引くのはフランシスコハビエル・ピラ(ランプレ)ル

ベン・ロバト(サウニエルデュバル)といったところで、いずれも優勝候補をエースに抱えるチームのアシスト達だ。特にピラの力走が目立っており、メイン集団はこの後2周半にわたり、まるで計っているかのように先頭集団との差を2分30秒台にコントロールする。

8周回まで逃げた日本勢、先頭から廣瀬(佳)、福島(康)、橋川、品川



6日目、第2回の山岳賞は福島が、林道脇を占めるブリヂストン応援団の大歓声を受けながら奪い取る。先頭集団の他のメンバーに対し5秒差を付けての山岳賞だが、メイン集団のペースは更に上を行き先頭に対し林道口よりも4秒ほど差を縮めている。この頃になると差は2分ほどになっており、7周目に入るといよいよメイン集団が先頭集団との差を詰め始める。7周完了時での差は1分7秒。

8日目、5周目に綾部が脱落し5名になっていた先頭集団だが、古賀志林道で飯野が脱落し4名になる。メイン集団はロバト、ダビデ・ブラマーティー(クイックステップ)、モリス・ポッソーニ



9周回を終える先頭集団、ランプレの二人が先頭を引く

(ランプレ)ら海外アシスト勢が積極的に引っ張っており、6km地点ではその差が1分を切る。

レースが大きく動いたのは9周目の古賀志林道。3回目の山岳賞の懸かったこの登りでは先頭集団でもアタックが展開されたが(山岳賞は橋川)メイン集団も一気にペースを上げ山頂からの下りで遂に先頭集団を吸収。17名の集団ができるがこれもまたすぐ後の集団と一体化し、これでレースが振り出しに戻った。

10周目の古賀志林道でクネゴ、マルコ・マルツァーノのランプレ勢2名がアタックを仕掛けると、これにシンケビッツ、マンセボ、田代泰崇(ブリヂストン)が反応し、新たな5名の先頭集団が形成される。更に山頂から下りにかけてクリスチャン・モレーニ(クイックステップ)、ホセアンヘル・ゴメス、マヌエル・モーリ(以上サウニエルデュバル)、パブロ・ラストラス(イレスバレアス)の4名が集団からエスケープし5名に合流。先頭集団は9名となる。有力チームのエースとアシストがそろい、これでレースの大勢が決まった。優勝者はこの9名に絞られた。

最終ラップ、古賀志林道の登りで仕掛けたのはマンセボで、先頭で山頂を通過。5秒差でクネゴ、13秒差でモレーニ、田代と続く。5位以下はそれからさらに30秒以上遅れておりこの時点で脱落。山頂からの下りでクネゴがマンセボに追い付き先頭グループを形成、ゴールまで5kmの地点でモレーニ、田代との差は20秒。この地点からの平坦

路でモレーニが田代を振り切り先頭を追いかける。チームのエースであるシンケビッツは大きく遅れており、モレーニが自ら勝ちを狙いに行くのであろう。これで田代は単独になり苦しい展開となる。

結局モレーニは前の2名に届かず、クネゴとマンセボのゴール勝負となる。ゴール前300mでクネゴが仕掛けるが、登りで足を使っていたマンセボは追うことができず、3秒差でクネゴが優勝。一昨年は6位、昨年はランキング1位を守ることが目標で2位に終わったクネゴであるが、今年は嬉しいジャパンカップ初優勝となった。優勝候補であるエースの堂々たる勝利であるが、今回のレースは海外各チームのアシスト勢の走りが光ったレースともいえよう。海外勢の層の厚さを改めて感じさせられた。

なお前日の男子オープンレースは、最後3名のスプリントを制した村山規英(ブリヂストンエスポワール)が優勝した。女子オープンレースは2周目から沖美穂(ラピスタ・ワナビ)と萩原麻由子(鹿屋体育大学)の一騎討ちとなり、沖が萩原を1秒押さえて8連覇を飾った。26名のエントリー、22名の出走となった女子レースであるが、ドーピングコントロールの呼び出しになかなか応じなかった選手が見受けられた。ドーピングコントロールのあるレースに参加するならば、途中棄権した選手であっても検体採取対象競技者に指定されていないかどうかを確認することは、当然認識しておくべきである(棄権

した選手であっても出頭義務がある)。出走選手及びチーム関係者には、ドーピングのルールに対する一層の理解を望みたい。(村田 隆宣)

[競技結果]

2005年ジャパンカップ・サイクルロードレース
(05/10/22-23 栃木・宇都宮)

イリト(151.3km)

1	ダミアノ・ケコ	LAMPRE	4:05:56
2	フランシスコ・マルセ	ILLES BALEARS	4:05:59
3	クリスチャン・モレーニ	QUICK STEP	4:06:23
4	パブロ・ラストラス	ILLES BALEARS	4:06:39
5	ヌニ・モーリ	SAUNIER DUVAL	4:06:39
6	パトリック・シグ	QUICK STEP	4:06:40
7	田代 恭崇	BRIDGESTONE	4:06:47
8	エリス・ボッツ	LAMPRE	4:07:47
9	鈴木 真理	BRIDGESTONE	4:07:47
10	黄金宝	HONG KONG	4:07:48

男子オープン(80.8km)

1	村山 規英	東京 BSIエスポワール	2:14:30
2	増田 成幸	千葉 ヘルキップ	2:14:31
3	二戸 康寛	東京 なるしま	2:14:32
4	松田 究	北海道 早稲田大学	2:14:38
5	畑中 勇介	東京 BSIエスポワール	2:14:49
6	西谷 雅史	東京 チム・オベリス	2:14:50
7	鈴木 謙一	静岡	2:14:50
8	吉田 秀夫	東京 なるしま	2:14:50
9	長沼 隆行	埼玉 BSIエスポワール	2:14:54
10	山本 幸平	北海道 アクトア専門	2:14:55

女子オープン(42.3km)

1	沖 美穂	JPCA 元・スタ・ワビ	1:18:04
2	萩原麻由子	群馬 鹿屋体育大	1:18:05
3	西 加南子	千葉 スミタハ 和	1:18:50
4	真下 正美	神奈川 SY-Nak	1:18:51
5	豊岡 英子	広島 ビチゴットコム	1:21:06
6	村中恵美子	東京 キョ・ミツリ	1:21:28
7	小山美貴子	埼玉 ZELKOVA	1:21:34
8	小野山恵美	愛媛 epuip U.R.	1:21:35
9	酒井 真清	大阪 Testach-R.	1:21:39
10	片山 梨絵	神奈川	1:21:40



女子オープンの覇者、沖



男子オープン、ゴールスプリントを制した村山(右)

第60回国民体育大会自転車競技会



スプリント決勝(左が優勝の前田)

成年団体追抜、優勝の岐阜

10月23日から27日、「晴れの国おかやま国体」第60回国民体育大会自転車競技会が、ロードレースは美作市の岡山国際サーキットを出発し、美咲町・赤磐市・佐伯町・和気町・備前市の国道・県道を周回する特設コースで、トラックレースは玉野競輪場において開催された。

トラックレース初日には成年1kmタイムトライアル決勝で、地元岡山の在本が見事優勝し、観衆の喝采を浴びた。

また、総合成績においては、団体追抜競走で少年優勝、成年2位の成績を収めた福島県が1点差で岡山を抑え、見事総合優勝を果たした。



少年団体追抜、優勝の福島



成年男子ケイリン決勝、左から1位東矢、3位吉田、4位三谷



[競技結果]

晴れの国おかやま国体

第60回国民体育大会自転車競技会

(05/10/23 0-ド:美作市・美咲町・赤磐市・
佐伯町・和気町・備前市

05/10/24-27 トリッパ:玉野市・玉野競輪場)

0-ドレース

成年個人0-ドレース(147.2km)

1	井上 和郎	福 井	3:24:22
2	圓谷 崇	新 潟	3:24:22
3	大野 涼太	青 森	3:24:22
4	新城 幸也	沖 縄	3:24:22
5	岡部 英人	富 山	3:24:23
6	松井 久	大 阪	3:24:23
7	大村 寛	鹿児島	3:24:23
8	矢代 慎吾	富 山	3:24:23
9	辻 善光	京 都	3:24:23
10	守澤 太志	秋 田	3:24:23

少年個人0-ドレース(132.4km)

1	竹之内 悠	京 都	3:14:52
2	吉田 隼人	奈 良	3:14:53
3	角 令央	奈 兵 庫	3:16:17
4	石倉 龍二	和歌山	3:16:17
5	佐伯 翔	福 島	3:16:17
6	渡邊 正光	福 島	3:16:17
7	寺垣慎太郎	富 山	3:16:17
8	大久保光次	宮 城	3:16:18
9	渋谷 壮之	熊 本	3:16:18
10	福田 真平	神奈川	3:16:18

トラックレース

成年1km個人タイムトライアル

1	在本 直樹	岡 山	1:08.802
2	岡田 真	島 根	1:09.543
3	小豆畑郁也	福 島	1:09.900
4	吉田 将成	岐 阜	1:09.914
5	佐藤 博紀	岩 手	1:09.953
6	城 幸弘	山 梨	1:10.187

少年1km個人タイムトライアル

1	脇本 雄太	福 井	1:08.749
2	澤口 大和	宮 城	1:09.351
3	片折 亮太	埼 玉	1:10.150
4	柁原 翔太	神奈川	1:10.200
5	不破 将登	岐 阜	1:10.382
6	山崎 将幸	秋 田	1:10.440

成年スプリント

1	前田 義和	鹿児島
2	屋良 朝春	沖 縄
3	中園 朋亨	福 岡
4	佐川 翔吾	大 阪
5	和田 圭	宮 城
6	河端 朋之	鳥 取

少年スプリント

1	小原 将通	大 分
2	佐々木吉徳	秋 田
3	阿部 力也	宮 城
4	森川 大輔	岐 阜
5	宮崎 康司	香 川
6	保科 圭太	新 潟

成年男子ケイリン

1	東矢 昇太	熊 本
2	岡村 敬之	新 潟
3	吉田 康則	岡 山
4	三谷 将太	滋 賀

成年ポイントレース決勝、7番キャップが優勝の守澤



成年4km速度決勝、右が1位の清水、左が2位の矢代



少年4km速度決勝、左が1位の桜井

- 5 菅井 寛之 山 形
- 6 大木 卓也 茨 城

少年ポイントレース

- 1 中野 彰人 和歌山
- 2 柳詰 正宏 福 岡
- 3 中本 匠栄 熊 本
- 4 荒井 透 山 形
- 5 福田 真平 神奈川
- 6 一戸 康宏 埼 玉

成年4km速度競走

- 1 清水 良行 岡 山
- 2 矢代 慎吾 富 山
- 3 蛭名 洋平 青 森
- 4 岡 豊洋 和歌山
- 5 西山 知宏 福 井
- 6 辻中 国宏 京 都

少年4km速度競走

- 1 桜井 正孝 宮 城
- 2 井関 太一 岐 阜
- 3 川本 琢也 岡 山
- 4 坂本 貴史 青 森
- 5 渡邊 正光 福 島
- 6 戸田 信夫 鹿児島

成年ポイントレース(30km)

- 1 守澤 太志 秋 田 23 p
- 2 圓谷 崇 新 潟 15 p
- 3 片山 智晴 岡 山 15 p
- 4 松村 光浩 和歌山 14 p
- 5 菊池 誠晃 愛 媛 12 p
- 6 大庭 伸也 宮 城 11 p

少年ポイントレース(24km)

- 1 角 令央奈 兵 庫 27 p
- 2 兼平 純 岩 手 18 p
- 3 森田 大介 和歌山 17 p
- 4 吉田 隼人 奈 良 15 p
- 5 市山 研 神奈川 12 p
- 6 穂苅 大地 新 潟 9 p

成年4km団体追抜競走

- 1 岐阜 吉田・中島・川西・青木 4:33.258
- 2 福島 小豆畑・明珍多・明珍周・糸賀 4:43.771
- 3 秋田 仲村・井上・守澤・根本 4:40.865
- 4 奈良 奥田・和田・吉田・辻浦 4:41.649
- 5 福井 山本・中島・井上・宮腰 4:39.006
- 6 岡山 在本・行成・片山・清水 4:39.690

少年4km団体追抜競走

- 1 福島 我妻・小野寺・須永・渡邊 4:37.077
- 2 和歌山 藤田・中野・森田・石倉 4:37.555
- 3 岡山 佐藤辰・片山・西村・川本 4:37.532
- 4 奈良 安福・吉岡・吉田・武田 4:39.062
- 5 京都 海老瀬・小西・足立・岩崎 4:40.681
- 6 秋田 山崎将・佐々木・石川・田口 4:40.811

総合成績

- 1 福 島 72点
- 2 岡 山 71点
- 3 和歌山 60点

国体10回出場表彰

- 湯原 正行 長 野
- 岩本 晋也 鳥 取
- 在本 直樹 岡 山



少年スプリント1位の小原(手前)と2位の佐々木



少年ポイントレース決勝、左が1位の角

2005-2006 UCIトラックワールドカップ・クラシクス#1



スプリント銅メダルの金子(右)

UCIトラックワールドカップ
第1戦 日本代表選手団

大会名	2005-2006 UCIトラック ワールドカップ第1戦
開催場所	ロシア・モスクワ
大会期間	2005年11月4日～6日
派遣期間	2005年11月1日～8日
派遣選手団	
監督	班目 秀雄 (JCFヘッドコーチ)
コーチ	阿部 良二 (JCFサブコーチ) 吉野 健二 (JPCAコーチ)
メニツク	森 昭雄 (JCF強化スタッフ)
マッサー	柳 浩史 (JCF強化スタッフ)
選手	金子 貴志 (JPCA) 稲垣 裕之 (JPCA) 渡邊 一成 (JPCA) 飯島 誠 (JPCA)

五月晴れ、11月のモスクワには、似合わない好天気が続いた。

競技は渡邊一成のケイリンからスタート。“自分は、競輪の先行選手だ”と言わんばかりの積極的な走りを見せたが、予選3着、敗者復活2着で準決勝へ進めなかった。

午後、飯島 誠のスクラッチ。序盤、後方集団に位置し周回を重ねる。さすがに層の厚い、中長距離にあっては、苦しいのかと思いきや、集団がバンクに上がって休んだ瞬間一気にスパート、先頭集団に取り付きそのまま先頭集団でゴール。10位。W杯ポイント1点を獲得。

稲垣裕之の1kmタイムトライアル。5秒前からのブザーが1回鳴らず、タイミングが合わないままスタート、スピードに乗り切れなかった。7位。本人は、何も言い分けしなかったが、見ている私も悔しいレースだった。

2日目スプリント。10秒中盤から、後半のタイムトライアルが続く中、観客のボルテージが上がる。金子貴志が、10秒223の好タイム。渡邊がそれを上回る10秒222。46人がエントリーした中で5番目、6番目のタイム。そして、本選、金子は強豪を次々倒し、モガキにもがいた9本。銅メダルを獲得。寡黙な男が、大仕事をやってくれた。渡邊は9～12位決

定戦に回り11位。しかし、自己の記録を0.2秒も上回る10秒222は、素晴らしいスピードだった。

飯島のポイントレース。ロシアのアテネ金メダリストを初めとした欧州勢が苦戦、自身もレース展開がかみ合わず、9ポイントの10位に納得がいかない様子だったが、私には、“中距離日本此処にあり”と言える堂々たるレース振りだったと思う。

今大会、地元ロシア勢やドイツ勢の活躍が目立った。班目監督の話によると、ドイツ勢は、この大会に臨む際、3週間のメキシコ高地合宿をしたそうだ。

日本選手もよく頑張ったと思う。これから、日本勢に必要なものは、準備と経験だと思う。もっともっと選手が経験を積み、しっかり準備をすれば、世界でも十分戦える。そう感じた今大会だった。(吉野 健二)



[競技結果]

05-06 UCIトラックワールドカップ・クラシクス#1
(05/11/4-6 ロシア・モスクワ)

男子1kmタイムトライアル

1	QUEALLY Jason	GBR	1:02.664
2	BERGMANN Carsten	GER	1:03.107
3	KANKOVSKY Alois	CZE	1:04.046
7	稲垣 裕之	JPN	1:05.995

男子スプリント

1	NIMKE Stefan	GER
2	MACLEAN Craig	GBR
3	金子 貴志	JPN
11	渡邊 一成	JPN

男子ケイリン

1	VYNOKUROV Andriy	UKR	
2	KWIATKOWSKI Lukasz	POL	
3	PTACNIK Adam	CZE	
	渡邊 一成	JPN	一回戦敗退

男子スクラッチ (15km)

1	KOVALEV Ivan	RUS
2	MULLER Andreas	GER
3	NEUVILLE Jérôme	FRA
10	飯島 誠	JPN

男子ポイントレース (30km)

1	CANCIO Sebastian	ARG	32 p
2	PEARCE Colby	USA	27 p
3	LAZER Petr	CZE	24 p
10	飯島 誠	JPN	9 p

男子チームスプリント

1	GERMANY	59.240
2	GREAT BRITAIN	59.746
3	SPAIN	1:00.830
6	日本 稲垣・金子・渡邊	1:01.668

2005年日韓対抗学生自転車競技大会



11月4日(金)に成田、福島、鹿児島から仁川国際空港に集合した日本選手団は出迎いのバスで試合会場となる慶尚北道栄州市へ向かった。栄州市は仁川空港から車で4時間ほど、小白山脈に屏風のように囲まれ、韓国の伝統文化や貴重な遺産が残されている美しい場所だ。

バスが宿舎のホテルに到着したのは午後7時、韓国選手団全員の出迎えを受けて、ホテルの玄関ホールで両国選手団の紹介をすることになった。選手団の中には、今年鹿児島で長期合宿をした韓国体育大学の監督と選手も含まれており、再会の歓びに浸っていた。

5日(土)は練習走行日で、自転車の整備を済ませると、早速、周回練習を開始した。会場は競輪訓練院の板張り333.3mトラック、走路上に銀傘が施設してあり一応の雨対策は採られている。結果的にこの銀傘のおかげで、無事大会を開催することが出来た。競輪訓練院には他に板張り250mトラックと直線の登坂訓練コースやロード訓練コースなど、修善寺の競輪学校に習って整備されている。

6日(日)大会当日は朝から雨が降り続き、試合会場へ到着するまでは開催が心配されたが、風が無く走路に雨の影響は無かった。9時競技開始の予定を開会式終了後の10時に変更して、開始することになった。開会式には栄州市長が参列し、観客席には地元の高校生が応援に駆けつけ、歓迎ムード一色に染められていた。

競技種目はスプリント、タイム・トライアル、インディビジュアル・パーシュート、男子大学のチーム・パーシュート、高校男子と女子のチーム・スプリント、ケイリン、ポイント・レースで対抗得点が争われる。

競技開始早々、スプリント200m予選で日大の屋良選手が11秒068の好タイムを出すと、昌原大学の金元政選手が10秒954で巻き返した。この勝負は決勝戦でも双方の意地がぶつかり合い、もつれる事となった。板張りトラックは湿度のせいで、乗った感じは重い、以外とタイムは出るようだった。

チーム・パーシュートと高校男子のチームスプリントは力負けしてしまったが、女子チーム・スプリントは見事に去年の雪辱を果たした。1走萩原が出遅れたが、2走篠崎がよく我慢して3走の佃につないだ。佃の残り半周での驚異的な追い込みで、1分11秒697の逆転勝利をものにした。高校生はよく健闘したが、1位が取れず対抗ポイントに泣かされた。子細は紙面の関係で割愛させて頂く。

総合優勝は昨年に引き続き韓国チームとなったが、日本チームも6点差に迫り、国家対抗戦らしい盛り上がりのある大会だった。

最後に大会参加で大変お世話になった、(株)大韓航空はじめ関係諸団体に厚くお礼を申し上げます。

(学連専務理事 山上 義明)



2005日韓対抗学生自転車競技大会 日本代表選手団

団長	佐々木一也(日本学生自転車競技連盟会長)
副団長	山上 義明(日本学生自転車競技連盟専務理事)
監督	
大学	玉木 伸雄(日本大学自転車部コーチ)
高校	田崎今日児(白河実業高校自転車部監督)
女子	黒川 剛(鹿屋体育大学自転車部監督)
選手	
大学	高島 豪(中央大学)・西村 行貴(日本大学)
	屋良 朝春(日本大学)・鈴木雄一朗(日本大学)
	三瀧 光誠(鹿屋体育大学)
高校	我妻 敏(学校法人石川高校)・須永 優太(白河実業高校)
	大島 将人(白河実業高校)・真船圭一郎(白河実業高校)
	関根 彰人(学校法人石川高校)
女子	篠崎 新純(明治大学)・宮崎 杏菜(鹿屋体育大学)
	佃 咲江(北海学園北見大学)・萩原麻由子(鹿屋体育大学)
	高倉 実希(早稲田大学)

[競技結果]

男子大学1kmタイムトライアル			男子高校ｽﾌﾟﾘｯﾄ			女子ｽﾌﾟﾘｯﾄ		
1	屋良 朝春	JPN 1:06.994	1	Park Jin Chul	KOR	1	佃 咲江	JPN
2	Son Jun Ho	KOR 1:07.799	2	Kim Yong Hae	KOR	2	篠崎 新純	JPN
3	Kim Won Jeong	KOR 1:08.461	3	大島 将人	JPN	3	Ryu Sun Ha	KOR
4	西村 行貴	JPN 1:10.183	4	関根 彰人	KOR	女子2km個人追抜競走		
男子大学ｽﾌﾟﾘｯﾄ			男子高校3km個人追抜競走			1	Ha Sun Ha	KOR 2:54.106
1	屋良 朝春	JPN	1	Choi Dong Hyeon	KOR 3:38.286	2	Kim Eun Hee	KOR 2:56.692
2	Kim Won Jeong	KOR	2	須永 優太	JPN 3:39.408	3	萩原麻由子	JPN 2:43.400
3	鈴木雄一朗	JPN	3	我妻 敏	JPN 3:44.473	4	宮崎 杏菜	JPN 2:49.689
男子大学4km個人追抜競走			男子高校ﾃｰﾑｽﾌﾟﾘｯﾄ			女子ﾎﾟｲﾝﾄﾚｰｽ(10km)		
1	Woo Seung Guk	KOR 4:58.203	1	KOR	1:05.350	1	Kim Eun Hee	KOR 29p
2	三瀧 光誠	JPN 5:03.969	2	日本 関根・真船・大島	1:05.763	2	萩原麻由子	JPN 21p
3	高島 豪	JPN 5:01.100	男子ケイリン			3	Ryu Sun Ha	KOR 17p
男子大学4km団体追抜競走			1	鈴木雄一朗	JPN	7	宮崎 杏奈	JPN 4p
1	KOR	4:36.623	2	Son Jun Ho	KOR	8	高倉 実希	JPN 1p
2	日本 高島・西村・屋良・三瀧	4:45.836	3	屋良 朝春	JPN	篠崎 新純	JPN	DNF
男子高校1kmタイムトライアル			男子ﾎﾟｲﾝﾄﾚｰｽ			佃 咲江	JPN	DNF
1	Kim Yong Hae	KOR 1:08.088	降雨のため中止			女子ﾃｰﾑｽﾌﾟﾘｯﾄ		
2	我妻 敏	JPN 1:09.045	女子500m タイムトライアル			1	日本 篠崎・佃・萩原	1:11.697
3	須永 優太	JPN 1:09.067	1	佃 咲江	JPN 36.898	2	KOR	1:12.302
			2	Choi Ye Rim	KOR 37.784	総合成績		
			3	篠崎 新純	JPN 38.068	1	KOR	69p
						2	日本	63p

UCI Continental Cycling Center Shuzenji

日本サイクルスポーツセンター内にある、コンチネンタル・サイクリング・センター・修善寺(CCC修善寺)はこのほど、2005年第2回トレーニングキャンプを10月25日から11月7日まで実施いたしました。

アジア諸国の各国連盟へ参加を募ったところ、ホンコンチャイナチームからジュニア選手が3名(LEE Wai Sze, Kwok Ho Ting, Sze-To Hin Leung)、日本チームから女子強化指定選手が7名(佃 咲江、篠崎新純、石井寛子、岡 希美、大塚沙織、萩原麻由子、和田見里美)参加しました。

期間中、JCFの強化スタッフである永友憲治氏のウェイトトレーニング、田口美樹子氏の栄養学(日本チームのみ受講)の講義が実施されました。秋空のもと気温の下がる修善寺の地で、選手たちは懸命にトレーニングに励んでおり、各自がこれからのステップアップへの課題をつかんでいたようでありました。

(野田尚宏)



2005 UCI サイクルサッカーワールドカップ # 7



1位チェコ 対 4位舞馬

も今まさに旬のチーム。朝9時半から待った無しの予選リーグ、会場の空気を温めたのはこの2組ではなかったでしょうか。見ているだけでも選手の「ノリ」が伝わるようで、本当にワクワクしました。

今大会においてアジア地区トップとなったチームフジ東京は、ワールドカップ決勝大会への出場権を手に入れています。海外での経験と活躍が、国内活性化の一助となるよう願ってやみません。

さて、11月からは各地で秋季リーグが始まり、12月10日11日は、待ちに待った全日本選手権です(於:大阪南港コスモスクエア国際交流センター内体育館)。選手の活躍に期待します。では皆様、大阪でお会いしましょう。

(阪本 博美)

東京スポーツ文化館[®]BunB[®]大会の前々日夜半、江東区夢の島にあるこの施設に到着した私は、亜熱帯な植林と雨天、そして凡そ東京のイメージとはかけ離れた周囲の暗さに困惑します。しかし、早くから到着していた欧州からの顔ぶれに安堵。(あ!去年も見たチェコの選手だ)などと半ばミーハー的に、期待に胸を膨らませた次第です。

そしてそのチェコチームが今年も優勝ポイントをかっさらっていきました。嗚呼、これはもう仕方のないことなのでしょう、世界ランク第4位(当時)の実力です。2位につけたのはスイスの若手チーム。今回観戦に来てくれた(無理矢理呼んだ?)私の友人2名はどちらも、このチームがお気に召したようでした。ビジュアル重視の奥様方も、是非お運び願いたい所です。そしてここから予想外の番狂わせ。日本国内では不動の地位を築きつつあったケルビム東京と、それを追うピンキーズ大阪が予選リーグで力及ばず5・6位に甘んじ、3・4位に上ったのは古株のチームフジ東京と、上昇中の注目株、舞馬(まうば)です。チームフジ東京は本年度の世界選手権に派遣される日本のセカンドチームであり、舞馬は昨年アジア選手権で優勝経験を持つという、どちら



2位スイス 対 5位ケルビム

[競技結果]

UCIサイクルサッカーワールドカップ[®] 東京大会 (05/10/16 東京・BunB[®]文化館)

1	CK Svitavka	CZE	Radim Hason	Pavel Loskot
2	RMV Oftringen	SUI	Rafael Stadelmann	Andreas Zaugg
3	チームフジ 東京	JPN	森 茂史	黒田 岳
4	舞馬	JPN	大野 和俊	芦塚 正博
5	ケルビム東京	JPN	都築 勝巳	松田 鋼
6	ピンキーズ 大阪	JPN	宮本 武彦	木下 直也
7	ウィズ・イム	JPN	畑 仁	平田 芳隆
8	Meihan	JPN	前田 寛之	大松 敏和
9	SCAA Gladiator	HKG	Man Fai Lo	Wing Tai Ho
10	アソビノ京葉	JPN	有川 和英	河野十史弥



競技大会 結果

大会名、チーム名等については略して記載

第41回西日本学生新人戦 (05/9/25 滋賀・大津びわこ競輪場 500m)

1kmタイムトライアル

1	後藤 彰仁	朝日大学	1:10.70
2	村松 俊弥	朝日大学	1:11.43
3	中島 和夫	朝日大学	1:13.51
4	田中 茂	関西大学	1:13.90
5	外園 涼	名古屋産業大学	1:15.30
6	森田 晃博	同志社大学	1:19.10

スプリント

1	鷲原 大直	朝日大学
2	古山 智之	京都産業大学
3	板谷 拓也	京都産業大学

ケリン

1	山田 佳典	朝日大学
2	高橋 政登	中京大学
3	横田 政直	朝日大学
4	福山 周司	朝日大学
5	上野 拓志	朝日大学
6	山崎 晃	京都産業大学

4km個人追抜競走

1	太田 貴明	京都産業大学	4:55.84
2	菊池 誠晃	朝日大学	5:02.21
3	岩本 拓明	中京大学	5:15.38
4	和田 昌也	朝日大学	5:15.39
5	佐々木優也	京都産業大学	5:22.83
6	前田 修平	京都産業大学	5:23.26

ホィトルス(30km)

1	柴田 一樹	朝日大学	58p
2	吉田 真人	立命館大学	35p
3	梅原 依路	京都産業大学	30p
4	伊勢 直人	朝日大学	10p
5	岡 豊洋	京都産業大学	9p
6	三河井 翼	同志社大学	8p

第1回全日本実業団富士スプリント大会 (05/10/1 静岡・富士スプリント大会)

BR-2 (54.72km)

1	相川 将	埼玉 BSIスプリント	1:21:27
2	丸山 厚	長野 スプリント	1:21:27
3	山田 隆史	山梨 オーストラリア	1:21:29
4	辻本 勝彦	石川 トヨタ	1:21:29
5	武田 秀明	大阪 日本アイランド	1:21:29
6	宗政 昭弘	福岡 チーム・チェア	1:21:29
7	野崎 鉄雄	東京 パンパシフィック	1:21:29
8	山添 悟志	神奈川 チーム・チェア	1:21:29
9	五島 則夫	神奈川 SERENO	1:21:30
10	矢部 紀行	東京 なるしま	1:21:30

BR-3 (36.48km)

1	NEIL MILLAR	千葉 チーム・チェア	51:40
2	石川 紀隆	東京 スプリント	51:41

3	青木 誠	東京 SERENO	51:41
4	藤岡 徹也	兵庫 クワッパ	51:41
5	吉田 裕児	静岡 フィット	51:41
6	戸塚 冬樹	静岡 C・C・YOU	51:41
7	辻本 学	京都 岩井商会	51:41
8	芝 保芳	静岡 VIVACE-掛川	51:41
9	田尻 直樹	長野 スプリント	51:42
10	加藤 孝啓	岐阜 BREZZART	51:42

女子(36.48km)

1	西 加南子	千葉 スプリント	1:00:27
2	戸井麻里子	埼玉 なるしま	1:00:27
3	真下 正美	神奈川 -	1:00:27
4	岡野 尚美	静岡 SPADEACE	1:00:27
5	和地 恵美	東京 たかだフルド	1:00:28
6	川上 雅子	長野 -	1:00:28
7	堀 友紀代	神奈川 HAMMER!!	1:02:58
8	児玉 圭未	静岡 VIVACE掛川	1:04:28
9	田中 安江	大阪 Testach	1:04:32

第2回全日本実業団富士山ヒルクライムロードレース (05/10/2 静岡・ふじあざみライク)

BR-1 (11.8km)

1	狩野 智也	JPCA スプリント	45:15
2	別府 匠	JPCA 愛三工業	46:15
3	新保 光起	JPCA 愛三工業	47:29
4	綾部 勇成	大分 ミヤギ	47:38
5	橋川 健	福島 絆CCD	48:01
6	西村 拓也	京都 ミヤギ	48:08
7	鈴木 謙一	静岡 YOU CAN	48:23
8	飯島 誠	JPCA スプリント	48:33
9	田中 光輝	愛知 愛三工業	48:42
10	管 洋介	東京 JOA-FORZA	48:48

BR-2 (11.8km)

1	長沼 隆行	埼玉 BSIスプリント	45:36
2	村山 利男	東京 Vitesse-伊加	48:06
3	服部 健一	大阪 Sakatani	51:51
4	石田 岳大	鳥取 ウェル	52:30
5	奥田 洋次	大阪 Sakatani	52:57
6	三浦 重範	東京 なるしまフルド	53:07
7	真鍋 英祐	山口 Sakatani	53:49
8	久保田 智	栃木 リアルTBC	53:57
9	古澤 勝	神奈川 たかだフルド	54:14
10	小林 義典	大阪 Testach	54:38

BR-3 (11.8km)

1	下林 伸行	兵庫 クワッパ	47:37
2	奥田 瑛史	兵庫 クワッパ	49:49
3	長澤 大志	神奈川 チーム・チェア	50:42
4	高橋 純	岩手 ヘルキップ	52:04
5	高島 光	兵庫 Vitesse-伊加	52:21
6	真柄よしゆき	大阪 クワッパ	52:38
7	吉田 守	青森 パンパシフィック	53:06
8	高江洲昌太	東京 輪千レック	53:34
9	松原 大地	埼玉 T-SERV.	53:50
10	吉野 敏	東京 オーストラリア	54:45

女子(11.8km)

1	真下 正美	神奈川 -	56:57
2	西 加南子	千葉 スプリント	1:04:58
3	桜本恵津子	宮城 -	1:09:49
4	志村みち子	長野 ラグニール	1:11:58
5	戸井麻里子	埼玉 なるしま	1:13:40
6	佐藤紗矢香	北海道 -	1:15:35
7	茅野 真央	東京 じてんしゃの社	1:15:53
8	田中 安江	大阪 Testach	1:25:01
9	松原由美子	大阪 Testach	1:37:16

MTBパシフィック 瀬女/XC・DH (05/10/8-9 石川・白山)

XC Elite Men

1	野口 忍	京都 TREK	2:10:59.99
2	小笠原崇裕	長野 SUBARU	2:11:56.65
3	山本 幸平	新潟 アトデア	2:12:25.79
4	小野寺 健	京都 TREK	2:14:09.87
5	竹之内 悠	京都 パナソニック	2:14:11.13
6	色川 浩樹	茨城 SPECIAL	2:14:18.81
7	山口 孝徳	長野	2:15:43.75
8	白石 真悟	大阪 シブキ	2:16:09.21
9	藤本弥之助	山口 SPECIAL	2:17:54.68
10	門田 基志	愛媛 SPECIAL	2:19:14.19

XC Elite Women

1	片山 梨絵	神奈川 TREK	1:50:17.96
2	真下 正美	神奈川 SY-Nak	1:51:15.20
3	中込由香里	長野 SY-Nak	1:53:01.22
4	矢沢みつみ	山梨	2:02:12.87
5	田近 郁美	岐阜 GODHILL	2:02:55.63
6	深井 薫	大阪 GaryFish	2:04:33.60
7	田崎 綾	千葉	2:12:44.97
8	長井 美香	京都 masahiko	2:14:19.85
9	酒井 真清	大阪 Testach	2:17:30.10
10	喜安万里子	愛媛 R・T・K	2:17:47.52

DH Elite Men (3.65km)

1	井手川直樹	埼玉 G Cross	5:09.763
2	丸山 弘起	長野 マシ	5:16.340
3	内嶋 亮	東京 G Cross	5:25.311
4	永田 隼也	神奈川 AYEL	5:31.235
5	丸山由紀夫	愛知 MOM&POP	5:31.291
6	柴田 幸治	神奈川 A&F SANT	5:31.917
7	大島 礼治	兵庫 MTBmaga	5:33.073
8	竹本 将史	埼玉 プリズ	5:40.612
9	和田 良平	大阪 INTENSE	5:44.125
10	河合 良紀	三重 カトリック	5:50.840

DH Elite Women (3.65km)

1	末政 実緒	兵庫 七ツ	6:35.546
2	渡辺 千代	長野 Cannondale	7:11.101
3	猪俣 浩子	神奈川 KOOWHO	7:31.668
4	福本 弘佳	兵庫 輪娘	8:29.320
5	飯塚 朋子	大阪 ROLL-OUT	8:29.594
6	楳本百合子	兵庫 KOUTA	9:13.157
7	安達 勅実	埼玉 Guava Jelly	9:40.160

2005ワールドカップ(UCI-1) (05/10/9-15 オーストラリア)

個人総合成績

1	Simon GERRANS	AUS AG2R	15:52:01
2	Dominique PERRAS	CAN HLP	15:52:15
3	David MCCANN	IRL Ireland	15:52:40
26	宮澤 崇史	JPN Bridgestone	16:07:42
28	狩野 智也	JPN Shimano	16:13:53
38	阿部 良之	JPN Shimano	16:17:25
39	盛 一大	JPN Japan	16:17:37
44	新城 幸也	JPN Japan	16:18:02
45	飯島 誠	JPN Japan	16:18:19
47	岡崎 和也	JPN Japan	16:18:32
57	品川 真寛	JPN Shimano	16:20:17
64	福島 康司	JPN Bridgestone	16:21:40
68	鈴木 真理	JPN Bridgestone	16:22:34
70	土井 雪広	JPN Shimano	16:22:42
83	別府 匠	JPN Japan	16:27:39
94	西谷 泰治	JPN Japan	16:29:04
97	廣瀬 佳正	JPN Shimano	16:30:28

団体総合成績

1	AG2R Prevoyance	47:39:00
2	HLP/Superstore	47:44:15
3	FDJ	47:46:14
11	Japan National Team	48:31:46
15	Shimano	48:47:13
17	Bridgestone Anchor	48:50:07

第1回全日本実業団サイクルロードレース in 飯田
(05/10/16 長野・飯田)



BR-1 (115.0km)

1	橋川 健	福島 村ノCCD	3:27:59
2	清水 裕輔	埼玉 ブリヂストン	3:28:39
3	中島 康晴	福井 鹿屋体大	3:30:11
4	佐野 淳哉	埼玉 ブリヂストン	3:30:29
5	津末 浩平	大分 ミヤギノ	3:30:38
6	畑中 勇介	東京 BSIスポーツ	3:31:02
7	三船 雅彦	JPCA ミヤギノ	3:31:09
8	米山 一輝	東京 スマイル	3:31:09
9	江下健太郎	愛知 愛三工業	3:31:15
10	二戸 康寛	東京 なるしま	3:31:34

BR-2 (69.0km)

1	佐野 友哉	大阪 ブリヂストン	2:05:32
2	村山 利男	東京 Vitesse-仔加	2:05:32
3	長沼 隆行	埼玉 BSIスポーツ	2:07:09
4	森 正慶	東京 T-SERV.	2:10:36
5	丸山 厚	長野 スカール	2:10:36
6	中西一太郎	岡山 チーム岡山	2:10:39
7	浜 久之	長野 スカール	2:10:44
8	杉谷 聡	東京 Vitesse-仔加	2:10:53
9	三浦 重範	東京 なるしま	2:10:53
10	宗政 昭弘	福岡 チーム・チェア	2:10:56

BR-3 (46.0km)

1	山本 和弘	北海道 日本アイランド	1:21:10
2	高橋 聡一	大阪 シノノギ	1:21:19
3	奈良 基	宮城 ヘルキップ	1:21:33
4	大山ミノル	愛知 Teamファイオド	1:21:49
5	山田大五郎	福岡 Testach	1:21:49
6	小久保 俊介	東京 Vitesse-仔加	1:21:49
7	田端 伸行	千葉 BM SPACE	1:21:49
8	茂木 一輝	長野 ガニール	1:21:49
9	川崎 敦木	大阪 カガワS	1:22:48
10	今井 康人	静岡 SPADEACE	1:23:10

女子 (46.0km)

1	豊岡 英子	広島 bicinoko	1:38:10
2	戸井麻里子	埼玉 なるしま	1:41:38
3	岡野 尚美	静岡 SPADEACE	1:42:15
4	志村みち子	長野 ガニール	1:43:41

全日本チーム対抗自転車競技大会
(05/11/13 静岡・日本CSC 250mトラック)

チームプリント

1	中部	近藤良・近藤洋・山田	52.263
---	----	------------	--------

2	近畿	伊藤・米田・吉川	52.559
3	学連	佐川・川崎・内田	53.076

4km団体追抜競走

1	中部	青木・川西・中島・不破	4:33.588
2	学連	西村・糸賀・矢代・小豆畑	4:40.043
3	近畿	安福・吉岡・吉田・入部	4:44.863

1kmタイムトライアル

1	不破 将登	中部	1:10.261
2	内田 晃弘	学連	1:11.431
3	西村 行貴	学連	1:11.523
4	吉田 隼人	近畿	1:12.200

250mタイムトライアル

1	近藤 良太	中部	19.342
2	佐川 翔吾	学連	19.403
3	安福 洋徳	近畿	20.601

500mタイムトライアル (女子)

1	川又 千裕	南大隈高校	40.615
2	中山 朋子	-	41.677
3	早坂ありさ	東北高校	42.722
4	石井 麻実	なるしまフルド	44.854

500mタイムトライアル (中学生)

1	和田真久留	藤が岡中学校	36.798
---	-------	--------	--------

250mタイムトライアル (小学生)

1	池田 圭汰	市立南小学校	25.329
2	黒瀬 壮馬	市立長岡南小学校	26.260
3	高城 里紗	町立南小学校	26.272

総合成績

1	中部 24p	2 学連 15p	3 近畿 9p
---	--------	----------	---------

第1回全国ジュニア自転車競技大会
(05/11/6 三重・四日市)



高校生男子の部 (54km)

1	市山 研	1:30:57.318
2	大中 拓磨	1:33:52.255
3	菱田 浩二	1:36:48.147
4	藤岡 徹也	1:37:39.224
5	小川 海斗	1:37:42.810
6	森下 剣人	1:37:55.432
7	落合 秀俊	1:37:59.128
8	前田 秀俊	1:38:40.549
9	戸川 恵次	1:44:29.978
10	大橋 庸平	1:44:45.116

高校生女子の部 (27km)

1	井上 玲美	51:10.015
2	石井 愛	51:54.491
3	近藤 美子	56:37.461
4	中根 礼音	58:44.202
5	佐藤 絢	1:00:35.976

小学1・2年生男子の部 (2.4km)

1	尾関 太伍	5:07.362
2	松本 峻典	5:15.349
3	橋本 悠吾	5:17.357

小学1・2年生女子の部 (2.4km)

1	古山 稀絵	5:43.425
---	-------	----------

2	寺田 有希	6:14.572
3	矢島果歩莉	6:15.543

小学3・4年生男子の部 (9km)

1	松本 祐典	18:22.192
2	野島 遊	18:36.911
3	安田 京介	18:47.457

小学3・4年生女子の部 (9km)

1	浅田 愛理	20:24.730
2	元砂七夕美	21:13.276
3	伊藤 杏菜	22:04.491

小学5・6年生男子の部 (9km)

1	後呂 有哉	16:59.618
2	内野 直也	17:00.953
3	川上 翔馬	17:02.052

小学5・6年生女子の部 (9km)

1	岩出 愛未	20:18.902
2	大岩 葵	21:01.240
3	岩田 彩紗	23:47.024

中学生男子の部 (27km)

1	鳥海 智大	45:52.135
2	元砂 勇雪	45:52.703
3	新井 翔太	45:53.459

中学生女子の部 (18km)

1	川上 千晴	36:47.146
2	岩田 知夏	36:51.053
3	澤井 祥子	37:03.223

ツール・おきなわ2005
(05/11/13 沖縄・名護他)

男子チャンピオンズ オールス (200km・UCI75%ア7-1-2)

1	田代 恭崇	JPN ブリヂストン	5:01:50
2	井上 和郎	JPN ブリヂストン	5:01:50
3	KRUPA Dawid	POL POLAND	5:05:20
4	橋川 健	JPN KINAN.CCD	5:05:20
5	廣瀬 佳正	JPN シノノギ	5:06:11
6	別府 匠	JPN 愛三工業	5:06:11
7	McCANN David	IRL GIANT ASIA	5:06:36
8	飯島 誠	JPN スマイル	5:06:43
9	新城 幸也	JPN チームおきなわ	5:06:58
10	広瀬 学	JPN KINAN.CCD	5:07:22

ジュニア国際レース (120km)

1	市山 研	神奈川 法政第二高	3:06:55
2	竹之内 悠	京都 立命館宇治	3:06:55
3	内間 康平	沖縄 北中城高校	3:06:55
4	篠原 力也	香川 笠田高校	3:07:54
5	伊藤 雅和	神奈川 法政第二高	3:10:13
6	福田 真平	神奈川 藤沢総合高	3:10:15
7	越海 誠一	大分 別府商業高	3:10:41
8	斎藤 大祐	熊本 千原台高校	3:10:41
9	湯浅 徹	千葉 京葉工業高	3:12:24
10	大久保光次	宮城 東北高校	3:12:24

女子国際レース (50km)

1	I Fang Ju	TPE 斉仁ズタイイ	1:24:38
2	萩原麻由子	群馬 鹿屋体育大	1:24:38
3	Liza Ratchetto	USA	1:24:38
4	豊岡 英子	広島 bicinoko	1:24:38
5	WONG Wan Yiu	HKG HONG KONG	1:24:38
6	西 加南子	千葉 スマイル	1:24:38
7	HUANG Ho-Hsun	TPE 斉仁ズタイイ	1:24:38
8	坂田 佳子	兵庫 POLPO	1:24:38
9	小淵 千恵	群馬 順天堂大学	1:24:38
10	永山 貴生	千葉 BM SPACE	1:24:38

- 平成17年度地区別自転車競技大会 -

北日本地区別自転車競技大会

(05/10/12 北海道・函館競輪場 400m)

1kmタイムトライアル

1	大森 慶一	北海道	1:05.819
2	松崎伊佐央	福島	1:06.378
3	青森 伸也	福島	1:06.776

スプリント

1	成田 和也	福島
2	渡邊 一成	福島
3	明田 春喜	北海道

ケリッ

1	岡部 芳幸	福島
2	高谷 雅彦	青森
3	金古 将人	福島

4km個人追抜競走

1	佐々木孝司	青森	4:54.38
2	関戸 努	宮城	5:08.36
3	藤原 義晴	岩手	5:08.38

ホイントレース

1	佐藤 友和	岩手	55p
2	佐藤 朋也	秋田	31p
3	小松 剛之	宮城	10p

チームスプリント

1	福島 伏見・佐藤・佐々木	1:15.71
2	宮城 佐藤・太田・早坂	1:19.16
3	北海道 田原・大井・菊池	1:19.35

4km団体追抜競走

1	青森 佐々木・佐藤友・佐藤朋・藤原	4:40.86
2	福島 松崎・佐藤・青森・山崎	4:41.00
3	宮城 高浜・小松・関戸・菅田	4:45.26

関東地区別自転車競技大会

(05/10/12 群馬・グリーンロード・前橋 335m)

スプリント

1	平原 康多	埼玉
2	小林 大介	群馬
3	松岡 慶介	栃木

ケリッ

1	武田 豊樹	茨城
2	手島 慶介	群馬
3	小橋 正義	新潟

1kmタイムトライアル

1	矢口啓一郎	群馬	1:04.931
2	稲村 成浩	群馬	1:05.580
3	井上 雄三	埼玉	1:06.577

4km個人追抜競走

1	飯島 規之	埼玉	4:44.996
2	斎藤 昌弘	群馬	4:52.750
3	小室 貴広	茨城	5:02.60

4km団体追抜競走

1	群馬 澁谷・田中・高橋・手島	4:31.91
2	栃木 飯嶋・宗景・阿久津・塚本	4:32.28
3	埼玉 太田・細沼・白岩・飯島	4:35.20

ホイントレース

1	細沼 健治	埼玉	18p
2	諸橋 愛	新潟	16p
3	大矢 将大	新潟	3p

チームスプリント

1	栃木 坂本・神山・中嶋	1:01.221
2	群馬 稲村・小林・兵藤	1:02.013
3	茨城 須賀・山田・大井	1:02.773

南関東地区別自転車競技大会

(05/10/12 神奈川・平塚競輪場 400m)

スプリント

1	吉川 誠	神奈川
2	石橋慎太郎	静岡
3	中井 達郎	静岡

ケリッ

1	新藤 敦	神奈川
2	石毛 克幸	千葉
3	會田 正一	千葉

1kmタイムトライアル

1	田中 晴基	千葉	1:05.742
2	三上 佳孝	千葉	1:07.226
3	片寄 雄己	静岡	1:07.349

4km個人追抜競走

1	原田 和明	千葉	4:58.21
2	加藤 剛	神奈川	4:59.46
3	野井 正紀	神奈川	5:04.69

4km団体追抜競走

1	静岡 岡 松江・村本・海野・山崎	4:39.81
2	神奈川 遠澤・川越・梶山・畠山	4:40.75
3	千葉 篠田・岡本・高田・石橋	4:58.87

ホイントレース

1	木部 孝美	静岡	58p
2	岡村 潤	静岡	50p
3	飯尾 主税	静岡	33p

チームスプリント

1	千葉 中村・伊勢崎・武井	1:16.50
2	静岡 渡邊・新田・萩原	1:16.52
3	神奈川 白戸・斎藤・石井	1:18.47

中部地区別自転車競技大会

(05/10/12 愛知・豊橋競輪場 400m)

スプリント

1	金子 貴志	愛知
2	松井 英幸	愛知
3	北野 武史	富山

ケリッ

1	山田 裕仁	岐阜
2	山口 富生	岐阜
3	青木 佳辰	愛知

1kmタイムトライアル

1	浅井 康太	三重	1:06.486
2	永井 清史	岐阜	1:06.549
3	馬淵 紀明	愛知	1:08.252

4km個人追抜競走

1	児玉 利文	岐阜	5:05.18
2	松尾 淳	岐阜	5:08.29
3	館 泰守	愛知	5:08.49

4km団体追抜競走

1	富山 坂上忠・坂上樹・岩本・辻	4:39.50
2	三重 上田裕・田中・上田国・浅井	4:48.72
3	岐阜 白井・本村・服部・國枝	4:49.25

ホイントレース

1	加藤 涉	岐阜	43p
2	舛井 幹雄	三重	43p
3	鰐淵 正利	愛知	18p

チームスプリント

1	愛知 島野・渡会・富永	1:16.914
2	岐阜 志智・加藤・永井	1:17.855
3	富山 伊藤・能無・中田	1:18.564

近畿地区別自転車競技大会

(05/10/12 奈良・奈良競輪場 333.33m)

スプリント

1	松岡 健介	兵庫
2	村上 博幸	京都
3	布居 寛幸	和歌山

ケリッ

1	内林 久徳	滋賀
1	高城 信雄	兵庫
3	渡辺 一貴	滋賀

1kmタイムトライアル

1	稲垣 裕之	京都	1:05.691
2	渡辺 十夢	福井	1:06.174
3	村上 義弘	京都	1:07.111

4km個人追抜競走

1	肥後 勇志	奈良	5:00.943
2	四宮 哲朗	京都	5:01.509
3	久保田奉文	福井	5:03.909

4km団体追抜競走

1	京都 窓場・久米・岩崎・山岸	4:38.134
2	福井 上松・木村・堂村・伊原	4:40.091
3	滋賀 門野・磯野・中村・櫻井	4:41.751

ホイントレース

1	窓場加乃敏	京都	24p
2	四宮 哲朗	京都	17p
3	蒔苗 拓	兵庫	9p

チームスプリント

1	京都 佐野・村上・稲垣	1:03.324
2	福井 松山・渡辺航・渡辺十	1:03.721
3	奈良 杉田・佐藤・辰己	1:05.961

中国地区別自転車競技大会

(05/10/12 岡山・玉野競輪場 400m)

スプリント

1	前反祐一郎	広島
2	井上 辰也	岡山
3	久富 武	岡山

ケリッ

1	吉永 好宏	広島
2	富 弥昭	山口
3	山根 義弘	山口

1kmタイムトライアル

1	三宅 達也	岡山	1:05.875
2	内村 泰三	山口	1:07.328
3	藤田 昌宏	岡山	1:10.230

4km個人追抜競走

1	増成 富夫	岡山	5:07.55
2	工 正信	広島	5:07.92
3	美濃 直樹	山口	5:26.22

4km団体追抜競走

1	岡山 中山・近藤・丹波・新村	4:37.86
2	広島 石田・郡・吉永・大屋	4:42.42

ホイントレース

1	岩津 裕介	岡山	28.5p
2	井上 剛	岡山	20p
3	斎藤 勝	広島	19p

チームスプリント

1	岡山 友定・筒井・榎原	1:17.40
2	山口 内村・国村・井山	1:18.02
3	広島 西田・吉本・橋村	1:18.75

四国地区フ^o自転車競技大会
(05/10/12 徳島・小松島競輪場 400m)

- スプリント
- 1 高原 仁志 徳 島
 - 2 福田 博 香 川
 - 3 山中 貴雄 高 知

- ケリソ
- 1 梶應 弘樹 愛 媛
 - 2 香川 雄介 香 川
 - 3 濱口 健二 高 知

- 1kmタイムトライアル
- 1 篠原 龍馬 高 知 1:07.68
 - 2 橋本 強 愛 媛 1:07.78
 - 3 池田 周平 高 知 1:07.94

- 4km個人追抜競走
- 1 鳥生 知八 愛 媛 4:58.73
 - 2 松田 大介 愛 媛 5:06.91
 - 3 増田 鉄男 徳 島 5:18.95

- 4km団体追抜競走
- 1 高知 中村・藤原・赤松・池本 4:42.11

- 2 香川 宮本・近藤・眞鍋・安川 4:43.64
- 3 愛媛 湊・武田・三好・和田 4:53.71

- チームスプリント
- 1 愛媛 渡部・濱田・岡本 1:16.40
 - 2 徳島 桜井・堤・高田 1:19.97
 - 3 高知 沖・林・篠原 1:22.59

九州地区フ^o自転車競技大会
(05/10/12 福岡・小倉競輪場 400m)

- スプリント
- 1 井上 昌己 長 崎
 - 2 北津留 翼 福岡A
 - 3 川野 正芳 大 分

- ケリソ
- 1 吉岡 稔真 福岡A
 - 2 城戸崎隆史 福岡A
 - 3 加倉 正義 福岡B

- 1kmタイムトライアル
- 1 荒井 崇博 佐 賀 1:04.201
 - 2 田中 弘章 福岡B 1:06.290

- 3 服部 克久 熊 本 1:07.687

- 4km個人追抜競走
- 1 米嶋 賢二 長 崎 4:55.340
 - 2 坂本 晃輝 佐 賀 4:55.750
 - 3 田中 誠 福岡B 4:56.790

- 4km団体追抜競走
- 1 大 分 大塚・安東・加藤・小岩 4:30.790
 - 2 福岡B 梶山・澤亀・白水・終元 4:33.120
 - 3 熊 本 松中・浦部・中村・松岡 4:39.390

- エリミネイソ
- 1 林 次郎 福岡A
 - 2 中塚 記生 熊 本
 - 3 新開 将暢 福岡B

- チームスプリント
- 1 熊 本 島田・松本・田川 1:15.560
 - 2 佐 賀 三槻・山田・荒井 1:16.240
 - 3 大 分 小野・菅原・安東 1:16.390



第25回アジア選手権・第12回アジアジュニア選手権 日本代表選手団

大会名 第25回アジア自転車競技選手権大会・第12回アジアジュニア自転車競技選手権大会

開催場所 インド・ルディアナ

大会期間 2005年12月11日～18日 派遣期間 2005年12月8日～21日

派遣選手団

監督 福田 公生(JCF強化コーチ)

メソツク 鬼原 積(JCF強化スタッフ)・齋藤 健吾(JCFロード競技部会支援スタッフ)

マッサー 石田 宗男(JCF強化スタッフ)・酒井 修(JCF支援スタッフ)

選手

エリート男子

短距離 北津留 翼(JPCA)・新田 祐大(JPCA)・屋良 朝春(沖縄)・佐藤 博紀(沖縄)・中村 健志(熊本)

中長距離 飯島 規之(JPCA)・飯島 誠(JPCA)・西谷 泰治(愛知)・盛 一大(愛知)

ジュニア男子

短距離 小原 将通(大分)・佐々木吉徳(秋田)

中長距離 川西 貴之(岐阜)・角 令央奈(兵庫)・兼平 純(岩手)・佐伯 翔(福島)・中野 彰人(和歌山)

女子 森本 朱美(鳥取)・佃 咲江(北海道)・萩原麻由子(群馬)

末永くお付き合いいただくために。



シマノ製品をご愛用いただきまして

ありがとうございます。

シマノではユーザーの皆様へ、当社製品と

末永くお付き合いいただけるよう、

各種補修用パーツをご用意しております。

- 製品についている取扱い説明書をご使用前に必ずお読みください。
- 機能保証のために分解できないパーツもあります。
- お近くの自転車店でご相談下さい。別途送料がかかる場合があります。
- 在庫状況により、品切れの場合もあります。予めご了承下さい。

SHIMANO

www.shimano.com

XBC001-A

2005年JCF短距離強化合宿

第6回強化合宿(05/9/25-10/1 泉崎)

参加：濱田 浩司、稲垣 裕之、成田 和也、藤田 竜矢、及川 裕奨、渡邊 一成、
新田 祐大、北津留 翼、佃 咲江

今回の強化合宿参加者は稲垣、濱田、佃が初参加、成田、藤田、及川、渡邊、新田、北津留と総勢9名でお互いがライバル意識を持って厳しいトレーニングを行っていた。又、低酸素トレーニングでも本格的に追い込んだトレーニングを行った。今回のJISSのサポートは初めての試みとして世界で戦う為のトップスピード秒速20mを目標としての動作解析を受けたが、20mをオーバーした選手は出なかった、今後如何にしてトップスピードを向上させて行くかが、課題となる。(班目秀雄)



第7回強化合宿(05/10/15-19 前橋)

参加：金子 貴志、濱田 浩司、成田 和也、藤田 竜矢、及川 裕奨、渡邊 一成、永井 清史、北津留 翼、新田 祐大、佃 咲江

今回の強化合宿には世界に再チャレンジを試みる金子、永井が参加、加えて濱田、成田、藤田、及川、渡邊、新田、北津留、佃の10名が参加した。選手達は今回の主目標であるトップスピードのアップ(秒速20mオーバー)を目指しJISSの動作解析を基にトレーニングを行った。結果は6名が目標値をクリアした、今後は目標無しで秒速20mオーバー出来るようパワーアップを計って行きたい。チームの雰囲気は金子、永井の加入でライバル意識、向上心、闘争心がより強くなって今後の競争が激化しチーム力の向上に結び付くと思われる。(班目秀雄)

登録者のアンチ・ドーピング検査規則に係る処分について

標記について、本連盟アンチドーピング委員会は、競技者資格に関し、UCIおよびJCF規則に基づき検討した結果、下記の処分を課すことを決定した。
記

- 事由 三瀧 光誠(山形)は、平成17年9月19日、北海道で行われた2005年ツール・ド・北海道ロードレース大会におけるアンチドーピング検査の際、検査対象となったにもかかわらず、自己の責任において対象者の確認をせず、結果として規定時間におくれて検査室に出頭した。
船木 美幸(東京)は、平成17年10月22日、栃木県で行われた2005年ジャパン・カップロードレース大会におけるアンチドーピング検査の際、検査対象となったにもかかわらず、自己の責任において対象者の確認をせず、結果として検査室に出頭しなかった。
- 決定 当該者に対して警告を与え、罰金5,000円を科す。
本連盟に登録する競技者は、登録者規程第1条にあるように、競技規則をはじめ諸規程およびUCI規則を順守しなければならない。特にアンチドーピングについては、本連盟登録者規程第2条に「競技に際して、特にドーピングまたは暴力行為などによりフェアプレーの精神に明らかに違反してはならない。」とあるように、厳しく定められている。アンチドーピング検査規則においては、検査への不出頭はドーピング行為と同等とみなされる重大な違反行為である。ここに厳重な警告を与え、罰金を科すことにより、本人の猛省を促す。今後、競技に参加するに当たっては諸規則を理解の上、十分に注意して臨むように指導する。
- 適用条項 UCIアンチドーピング検査規則第72条および132条 JCF競技規則第99条10(11)(18)(19)

時代は、Titan
5077 OCTANE ROAD
Coming Soon!

株式会社パールイズミ 〒130-0026 東京都墨田区両国2-4-2 電話 03-3633-7556 <http://www.pearlizumi.co.jp> オンラインショップ <http://shop.goo.ne.jp/store/ip-pearl>

インフォメーション コーナー

齊藤 博 氏 生涯スポーツ功労者表彰を授賞

都道府県教育委員会等の推薦により、長年にわたりスポーツの普及振興に尽力し功績をあげられた方に贈られる賞で、去る10月7日に東京都内のホテルにおいて、「平成17年度生涯スポーツ功労者(154名)及び生涯スポーツ優良団体(130団体)表彰式」が行われ、齊藤 博 氏(76歳・長野県自転車競技連盟副会長、連盟評議員)に生涯スポーツ功労者として文部科学大臣より表彰状が贈られた。



新顧問 (平成17年11月1日付)

UCIトラック委員会委員の変更に伴い、内村俊一顧問に代わって阿部毅一郎氏(65才・(財)日本サイクルスポーツセンター会長・(財)自転車産業振興協会会長)が本連盟顧問に就任しました。



事務局人事 (平成17年10月11日付)

大脇 恒夫 国際事業推進室室長
 松橋 雅子 総務部財務課課長補佐
 松尾 英治 業務部競技課係長
 松本 里香 総務部総務課係長 兼 業務部競技課係員
 前川 恵美 総務部財務課主任 兼 総務課係員
 山田 克彦 選手強化部選手強化課主任 兼 業務部競技課係員
 鈴木 久雄 参与(特命)

2005ヘラルドサンツアー 日本選手団

大会名 2005ヘラルドサンツアー(UCI2-1)
 開催場所 オーストラリア
 大会日程 2005年10月9日～15日
 派遣日程 2005年10月5日～16日
 派遣選手団

監督 高橋 松吉(JCF強化コーチ)
 マッサージ 中島 康仁(支援スタッフ)
 選手 飯島 誠(JPCA)・岡崎 和也(JPCA)
 別府 匠(JPCA)・西谷 泰治(愛知)
 盛 一夫(愛知)・新城 幸也(沖縄)
 村上 純平(山形)・三浦 光誠(山形)

トラックワールドカップ第2戦 日本選手団

大会名 2005-2006 UCIトラック・ワールドカップ
 クラシクス第2戦
 開催場所 イギリス・マンチェスター
 大会期間 2005年12月9日～11日
 派遣期間 2005年12月5日～13日
 派遣選手団

監督 班目 秀雄(JCF強化ヘッドコーチ)
 コーチ 阿部 良二(JCF強化サブコーチ)
 幼二ツ 森 昭雄(JCF強化スタッフ)
 マッサージ 柳 浩史(JCF強化スタッフ)
 選手 濱田 浩司(JPCA)・及川 裕典(JPCA)
 成田 和也(JPCA)・藤田 竜矢(JPCA)

国際グランプリ・ケイリン 日本選手団

大会名 国際グランプリ・ケイリン
 開催場所 イギリス・マンチェスター
 大会期間 2005年12月11日
 派遣期間 2005年12月7日～13日
 派遣選手団

団長 中村 義行(JCF常務理事)
 監督 大和 孝義(JCF理事)
 コーチ 新田 恵基(JPCAコーチ)
 選手 渡邊 晴智(JPCA)
 稲村 成浩(JPCA)
 金子 貴志(JPCA)
 荒井 崇博(JPCA)

連盟の動き (10月中旬～11月上旬)

10月10日	第2回ジュニア強化育成部会	於：東京・自転車会館
10月10日	オリンピックフェスティバル2005	於：東京・駒沢オリンピック公園総合運動場
10月15日	第7回トラック強化合宿(～19日)	於：群馬・グリーンドーム前橋
10月25日	第2回トラック・ロード女子強化合宿(～30日)	於：静岡・日本CSC
10月27日	ロード海外強化合宿(～11月4日)	於：チャイニーズタイペイ
10月30日	トラック・ワールドカップ日本代表選手団出発	於：ロシア・モスクワ(帰国 11/8日)
10月31日	平成17年度上半期監事監査	於：東京・自転車会館
11月7日	第4回選手強化委員会	於：東京・自転車会館



シクリスムエコー No.124 2005年11月号

発行/財団法人日本自転車競技連盟

発行人/岩橋 昭一

編集人/加藤 昭

編集事務局/財団法人日本自転車競技連盟事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-15 日本自転車会館内

TEL 03-3582-3713 FAX 03-5561-0508

URL <http://www.jcf.or.jp/>

JCF協賛スポンサー

